平成 25 年度事後評価・決算 事務事業マネジメントシート ポル 27 年 2 月 13 日								口时从		
事	務	コード1	24500	土地改良施設等維持管理負担金	課	農水産課				
事	業名	コート*2		維持管理助成金 □ 主要事業	一 所属班 電話番号	農業基盤整備班 68-1173 <b>内線</b>				
	基本	方針	5	活力と躍動感に満ちたまちづくり	予算	会計	款	項	目	
施策		策		農業の振興	科目	一般会計	6	1	5	
体系	施策の	の展開	1	農業生産基盤の整備	根拠	<i>†</i> a1				
	基本	事業	262	土地改良施設整備と維持管理	法令	なし				
1 現	1 現状把握(Do)									
(1)	<b>事業概</b>	要								
① 事	業期	間		② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解でき			,١		•	
				土地改良施設等実施に上N整備」た施設の管理は 複雑かつ高度な管理が	<b>以亜とかって</b>	いろうう 農業田排水路け州塩	は排水の機	能を有1つ	コンストレ	

② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
土地改良施設等実施により整備した施設の管理は、複雑かつ高度な管理が必要となっているうえ、農業用排水路は地域排水の機能を有していること
から、適正な維持管理を行うための費用の一部を負担金又は助成金として助成し、農家負担を軽減し、農業経営の安定化を図る。
【負担金】①大利根土地改良区排水負担金、②大利根用水新川排水機場維持管理費負担金、③国営造成施設管理体制整備促進事業負担金、④
新宿機場維持管理費負担金、⑤土地改良施設維持管理適正化事業負担金、⑥干潟土地改良区排水負担金、⑦風永川排水機場管理協議会負担
■金【助成金】①水資源機構施設管理助成金、②北総東部土地改良区基幹施設更新補助金、③北総東部土地改良区畑作振興冬期用水助成金、④
北総東部土地改良区維持管理事業助成金、⑤東総用水土地改良区維持管理事業助成金
【業務の流れ】
【負担金】①負担金協議通知受付→②同意書送付→③請求書受付→④負担金支払い
【助成金】<前年度9月>①次年度予算額の協議→<当該年度>②助成金申請受付→③交付決定→④実績報告受付→⑤助成金
支払い

XIAV ·						
(2)トータルコスト ① 事業費の内訳(25年度の実績) 単位: 千円		単位	23年度 (決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
1. 負担金 43,185 大利根土地改良排水負担金10,729千円	<b>費</b> 1. 負担金	千円	42,394	44,026	43,185	
■ 0 干潟十地改良区排水負担金15.426千円	- 目	千円				
0 国営造成施設管理体制整備促進事業負担金7,539千円	l争l⇔l	千円				
0 大利根用水新川排水機場維持管理費負担金6,092千円ほか	業 [-3]	千円				
2.維持管理助成金 17.231	費 試 2. 維持管理助成金	千円	7,492	8,519	17,231	13,611
【前年度比増理由】北総東部土地改良区施設の老朽化による補助金の増加	事業費計(A)	千円	49,886	52,545	60,416	59,401
② 延べ業務時間の内訳(25年度の実績) 単位:時間	うち一般財源	千円	49,886	52,545	60,416	59,401
負担金・補助金・助成金等の事務処理 200時間	人 正規職員従事人数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
	件延べ業務時間	時間	200	200	200	200
	費   人件費計(B)	千円	760	760	760	760
	トータルコスト(A)+(B)	千円	50,646	53,305	61,176	60,161

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標 23年度 24年度 25年度 26年度 (決算) (決算) (決算) (計画) ⇒ ⑤ 活動指標名 ① 主な活動 単位 25年度実績(25年度に行った主な活動) 土地改良区排水負担金や排水機場維持管理負担金等 負担金件数 の支払い 手段 助成金件数 3 3 4 26年度計画(26年度に計画している主な活動) 土地改良区排水負担金や排水機場維持管理負担金等 の支払い

	(新規)東総用水土地改良区維持管理事業助成金								
	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	þ	6	対象指標名	単位	23年度(決算)	24年度 (決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	土地改良施設等の農業受益者		ア	土地改良区組合員数	人	6,978	6,971	6,931	6,901
			イ						
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	þ	7	) 成果指標名(考え方)	単位	23年度(決算)	24年度 (決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	・適正な維持管理による、農業用水の安定供給や 冠水による農作物への被害防止		ア	用排水施設の不具合による農作物への被害件数 ( )	件	0	0	0	0
			イ	( )					
	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	Þ	8	・ )上位成果指標名(考え方)	単位	23年度(決算)	24年度 (決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
上位目的	農業生産高の向上		ア	主要農産物作付面積	ha	5,107	データなし	データなし	データなし
的			イ	農業産出額 (後期基本計画P90)	億円	H18 418			

## (4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	(2) 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠 法令等)はどう変化しているか?開始時期 あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業 対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が 寄せられているか?
大利根土地改良区排水負担金は、昭和46年度より負担し、干潟土地改良区排水負担金は、平成12年度より負担しているが、その他については不詳。	2 17 7 7 7 7 7	意見要望はなし。

	事務事業名	土地改艮施設等 維持管理助成金	維持管理負担金			課名	農水産課	班名	農業基盤整備班	
2	評価(Check1)担	当者による事後評	価							
目		ま市の施策体系に結 とが上位目的に結び	□ 見直し余地がある ☑ 結びついている 負担金や助成金の交付 冠水による農作物への複	披害防止につなが	) 施設等が適正に約 り、そのことが農業					
妥	② 対象・意図の妥当 対象を限定・追加すべ 拡充すべきか?		□ 見直し余地がある ⇒【理由】 □ □ 適切である ⇒【理由】 □ □ 適切である ⇒【理由】 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □							
評価	は 行政関与の妥当なぜこの事業を市が行のか?税金を投入して	<sub>う</sub> わなければならない	は農業生産基盤の強化につながるため、適切である。  □ 見直し余地がある ⇒【理由】 □ 妥当である ⇒【理由】 □ 妥当である ⇒【理由】 □ 受許である ⇒【理由】 □ 受許である ⇒【理由】 □ 受許である ⇒【理由】 □ 受許である ⇒ (対策を) を対しと考える。 ・ 近隣市町村でも、行政関与が行われている。							
	④ 成果の現状水型 あるべき水準や目標に 隣市や類似団体と比集	=達しているか?近	□ 見直し余地がある ☑ 妥当である 用排水施設の不具合に	⇒【理由】 <b>5</b> ⇒【理由】 <b>5</b> よる農作物への被	Ď.	り、妥当で	<b>*</b> ある。			
有效性	とどうか?成果の向上か?	上が期待できるか? 境変化等を考慮する 余地はどの程度ある								
評価	平⑥ 類似事業との統廃合・連携の			ごきる ÷る à・連携している	⇒【理由】 <b>②</b> ⇒【理由】 <b>③</b>	—— 寺管理適〕	正化事業、土地改 正化事業	 文良施設等	等整備事業 )	
			□ 統廃合・連 県等が土地改良施設の 理費削減の取り組みはい る。 □ 他に手段がない □ 削減余地がある		た、土地改良施設					
<b>效率性</b>	(表面トータルコスト 事業費を削減できない 過剰仕様の適正化、匠 カ、アウトソーシングな	の事業費部分) か?(経費の精査、 回数削減、住民の協 など)	☑ 削減余地がない 市の負担割合や負担額	⇒【理由】 <sup>5</sup> úは協定書等で関係	♪ 系者協議の結果決	定されて	おり、削減は難しい	, <sup>1</sup> °		
評価	(表面トータルコスト やり方の工夫(業務プ や臨時職員の活用・委 の延べ業務時間を削	の人件費部分) ロセスの改善など) ミ託により、正規職員 域できないか?	□ 削減余地がある □ 削減余地がない 負担金・助成金支払い	→【理由】 <del>「</del> →【理由】 <del>「</del> こ係る必要最低限	Ď.	域余地はな	CV '.			
評		受益者に偏っていて 受益者負担が公平・	□ 見直し余地がある ☑ 公平・公正である 土地改良施設の農業受 受益機会・負担ともに適	:益者に広く受益機	Ď.	日や県の事	<b></b> 業については地	元負担率	ぶか決まっており、	
3	評価(Check2)担	当課長による評価								
<u>(</u>	③ 効率性 ☑	<ul><li>② 適切 □ 見直</li><li>③ 適切 □ 見直</li><li>③ 適切 □ 見直</li></ul>	(2)全体機 し余地あり 負担金・助兵 し余地あり も防止されて し余地あり 少しでも抑制 し余地あり	ている。事業費の肖	敗良施設等が適切 刂減については困∮	難であるか			因した農作物被害 負担金・助成金を	
<u>(</u>	] 受益機会の適正化 ] 廃止・休止	<b>可性(複数選択可)</b> こよる成果向上 こよる事業費削減	※2~3年後を目 □ 行政関与の見直し □ 事業統廃合・連携(関 □ 事業のやり方改善に □ 費用負担の適正化	関連事業 : :よる延べ業務時間				- ·休止の <sup>‡</sup>	よる期待成果 場合は記入不要) コスト 川滅   維持   増加	
(1)	<b>2)改革改善案につじ</b> いつまでに 継続実施	①土地改良	区が積算した事業費の	<b>くどうするのか?</b> 精査を行う				低下	0	
	<b>4)改革、改善を実現</b> になし	する上で解決すべ	き課題(壁)とその解決第	Ę						